

群馬県立高崎高等特別支援学校 学校評価一覧表①(令和4年度版)

(様式1)

羅針盤			関係する 分掌	方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策
I 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	本校Webページで「学校の様子がよく分かる」と保護者の90%が答えている。	教務	○「学校ブログ」や「進路支援」等の内容を充実させ、保護者に日頃の教育活動や進路指導情報などを分かりやすく情報発信するとともに、中学生や地域が本校に関心をもつよう内容の改善を図る。	A	A	保護者や本校を志願する中学生等に本校の魅力や学習の様子を情報発信するため、「学校ブログ」を定期的に更新した。最新情報の提供を継続するとともに、進路情報を充実させたい。	A	A	93%を超える保護者から「はい」「どちらかといえば、はい」を回答を得た。これからも頻繁に更新し、分かりやすいWebページの作成を目指していくことが求められる。
		管内の中学校・特別支援学校中学部の生徒、保護者、教職員に対して50回以上の説明の機会を設ける。		○積極的な学校訪問、学校見学会への参加・個人的な見学もしてもらい、各校への啓発活動に努め、外部アンケートを実施する。	A	A	学校見学会には、160名ほどの参加があり盛況であった。今後行われる説明会等でも重ねて、広報していきたい。	A	A	2度の見学会において、延べ70校、総数230名に見学していただいた。個別の見学も17件実施した。本校の魅力を発信できるよう啓発活動を継続していきたい。
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	「個別の教育支援計画が有効に利用されている」と保護者・教員の95%が答えている。	学習指導	○「個別の教育支援計画」について保護者と教員が共通理解を図り、教育支援連絡会や三者面談での丁寧な説明で有効に利用し、効果的な支援に取り組む。	A	A	内容が多岐にわたるため、保護者が理解しやすいように簡潔な資料と説明を心がけ、引き続き有効活用する。	A	A	保護者の約95.8%から肯定的な回答を得た。限られた時間でしっかり共通理解を図れるよう準備し、丁寧に対応していきたい。
		支援を行った地域の高等学校等から、90%以上の満足度を得ている。		○支援要請を受け、速やかに日程調整を行い最適な支援スタイルで対応する。 ○訪問後速やかに、訪問時に共有した情報や提案した支援方法等を「相談記録」にまとめ、対象校へ提供する。	A	A	引き続き、速やかに支援要請に応じ、分かりやすい相談記録を作成する。また、実施後速やかに相談記録を提出できるように努力する。	A	A	相談記録を作成する際に、簡潔に、具体的な指導・支援方法を提案できるように工夫する。
III 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	「『個別の指導計画』に基づいた、きめ細かな指導・支援が行われている」と保護者の95%以上が答えている。	学習指導	○「個別の指導計画」に基づき、保護者と情報交換を密に行い、連携した指導を実践するとともに、学期ごとに工夫改善を図る。	B	B	機会を捉えて、生徒や保護者に指導内容や変容(できたこと)を伝えるとともに、保護者と連携し、主体的な学びとなるよう指導・支援を行う。	B	B	保護者の約94.7%から肯定的な回答を得た。教科担任にも共通理解を図る機会を設定し、よりきめ細かい指導の実現していく。
		いじめの防止に向けた本校の取り組みについて保護者の90%以上が満足している。		○いじめの未然防止、早期発見、事案への迅速な対応に努め、生徒や保護者が安心して学校生活を送れるよう、組織対応の実効性のための職員研修を充実し、いじめ防止指導の徹底を図る。	A	A	いじめ防止に向けた「リア充」や「挨拶運動」などの取組を検証するとともに、生徒及び保護者が安心して学校生活を送ることができるよう改善を実践する。	A	A	生徒と保護者に対し、いじめ対策推進法及び本校のいじめ防止基本方針の説明をなお一層充実させ、理解を図る。
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	一人2回以上の授業を参観するとともに、研究授業・授業研究会・研修会等を計画・実施する。	学習指導	○授業改善のための授業参観、研究授業・授業研究会・研修会等を年間5回以上実施する。	A	A	本校における授業改善のポイントを明確にし、生徒の実態に合った指導・支援が実践できるよう工夫改善に取り組む。	A	A	保護者の約95.8%から肯定的な回答を得た。生徒の実態に応じて、読み書きなど基礎的な学習も確実にできるようにしていく。
		生徒一人一人の健康上の配慮や対応について保護者の95%以上が満足している。		○毎日の生徒の健康状態の把握と保護者との連携や必要に応じて医師の指導を受け、健康管理に努める。 ○要治療の生徒に対して治療の確認と未治療の生徒への再通知等について改善を図る。	A	A	毎日の健康観察を丁寧に行うとともに、年度初めの検診結果で未受診の生徒に対しては、治療の重要性を伝え、受診の働きかけを行う。	A	A	治療を要する生徒については、長期休業中に治療をするように、再度通知を配付するなどして受診を勧め、年度内に治療を完了するようにしていく。
7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	感染症の拡大防止に向けた取組について保護者・教職員の100%が満足している。	保健保安	○検温や手指の消毒、飲食事や歯磨きの指導や人との距離を保つ指導を行う。 ○教職員が手すりやスイッチなど、多数が共有する設備の消毒を行う。	B	B	県や教育委員会の新型コロナウイルス感染症対策の基準のもと、生徒の実態にあった感染症対策を検討し、感染拡大の防止に努める。	B	B	感染症の拡大防止のため、手洗いの励行や手指の消毒、生徒同士の距離の取り方や歯磨きなど、飛沫感染を防ぐようきめ細かな指導を行っている。
		緊急時の対応や避難経路について生徒の80%以上が理解している。		○様々な災害を想定した避難訓練を実践するとともに、学校と保護者が連携した危機管理体制の構築を図り、安全・安心な学校づくりに努める。	A	A	様々な災害を想定した訓練を繰り返し行うことで、生徒及び教職員が危機管理に対する意識を高め、安全な学校づくりに取り組む。	B	B	避難訓練は消防署から指導を仰ぎ、より充実させていきたい。また、安全確保に向けて、危機管理マニュアルを見直し、改訂していく必要がある。
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して体系的な指導を行っていますか。	「生徒が明確な目標をもち、努力している」と教職員の90%以上が答えている。	進路指導	○キャリアパスポートを活用し、生徒がなりたい自分の姿をイメージして、自らの進路を考えられるよう指導する。	A	B	キャリアパスポートを保護者に確認していただく機会を設け、生徒が目標をもって努力している姿を保護者と共有できるようにする。	A	B	生徒が目標をもち努力している姿を保護者に伝えられるよう、活動の様子を発信する機会を増やしたり、保護者会や面談等で情報共有したりできるようにしていきたい。
		保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。		保護者、関係機関を招いた情報提供の場を年間5回以上開催し、保護者の80%以上が満足している。	○保護者会、面談、進路セミナー、進路ガイダンス、企業説明会等を実施し、個に応じたきめ細かな進路指導に取り組む。 ○事前に文書や担任を通じて、保護者に内容を周知する。	A	A	保護者会や進路セミナー等で、保護者に必要な情報を提供するとともに、学年主任、正副担任、保護者が連携して生徒の実態に応じた進路指導を実践する。	A	A